



2022年4月26日

各 位

会社名 三洋貿易株式会社  
代表者名 代表取締役社長 新谷 正伸  
(コード番号:3176 東証プライム)  
問合せ先 取締役 事業部門担当 進藤 健一  
(電話番号:03-3518-1111)

「内子龍王バイオマス発電所」の建設着手に関するお知らせ

当社と有限会社内藤鋼業、株式会社サイプレス・スナダヤ、株式会社竹中工務店および大日本コンサルタント株式会社の5社は愛媛県内子町での木質バイオマス発電の事業化に向け、「内子龍王バイオマス発電所」の建設に2022年5月より着手することになりましたので、別紙共同リリースの通りお知らせいたします。

なお、本事業が当社の2022年9月期の業績に与える影響は軽微であります。

以 上

(別紙共同リリース)

## News Release

### 愛媛県内子町において地域連携型の「内子龍王バイオマス発電所」の建設に着手 ～地元産材を活用した木造発電所から生み出される熱を地域の交流施設で有効活用(熱電併給)～

2022年4月26日

有限会社内藤鋼業

株式会社サイプレス・スナダヤ

株式会社竹中工務店

三洋貿易株式会社

大日本コンサルタント株式会社

内藤鋼業(社長:内藤昌典)、サイプレス・スナダヤ(社長:砂田和之)、竹中工務店(社長:佐々木正人)、三洋貿易(社長:新谷正伸)、大日本コンサルタント(社長:新井伸博)の5社は、愛媛県内子町での木質バイオマス発電の事業化に向け、「内子龍王バイオマス発電所」の建設に5月より着手します。

当発電所は、内子町森林組合に出材された原木約3,600t/年の間伐未利用材により製造されたペレットを燃料に用いて発電します。発電した電力は固定価格買取制度(FIT制度)を利用して四国電力送配電へ全量売電するとともに、発電の際に発生する熱は隣接する内子町龍王公園内の「オーベルジュ内子」と「フィットネスRyuow」の2施設へ供給する計画です。これによりエネルギー効率を発電のみの30%から75%に高めます。

発電システムは、ブルクハルト社(独)製の小型高効率木質バイオマス熱電併給装置を採用します。木質ペレットについては内藤鋼業小田ペレット工場より調達する計画で、その稼働実績を活かした安定的かつ確実な施設運営を目指しています。

発電所建屋は、町産材による木造建築とし、内子町景観まちづくり条例に配慮したデザインとします。その部材には、サイプレス・スナダヤ(西条市)で製作されたCLT(※)を積極的に活用し「観光資源として見せる発電所」となるよう計画しました。

内子町では、2007年に掲げたバイオマスタウン構想に則り、町内各所でバイオマス利活用が進んでいます。当発電所においては、2021年9月に5社の共同出資で設立した「株式会社内子龍王バイオマスエネルギー(社長:内藤昌典)」を事業主体とし、「内子町龍王地区の木質バイオマス熱電併給に関する基本協定書」を締結した同町からの各種支援に加え、地元企業20社からの優先出資など地域が一体となって事業実現に関与する仕組みを導入することで、地域内に新たなエネルギーと経済の循環を構築します。

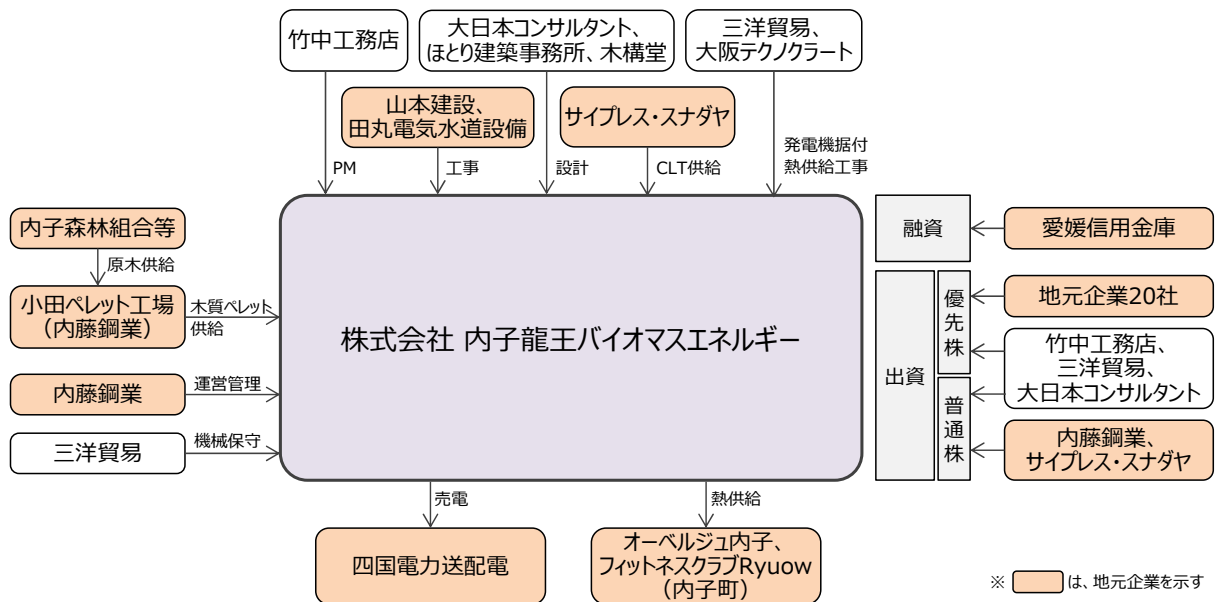
今後、本事業を通じ、地域の脱炭素化や防災力強化に寄与する木質バイオマス発電事業として、地方自治体や地元企業と連携した「木質バイオマスによる持続可能なまちづくり」の先導モデルとなるよう取り組んでまいります。

※ CLT:直交集成板(Cross Laminated Timber)

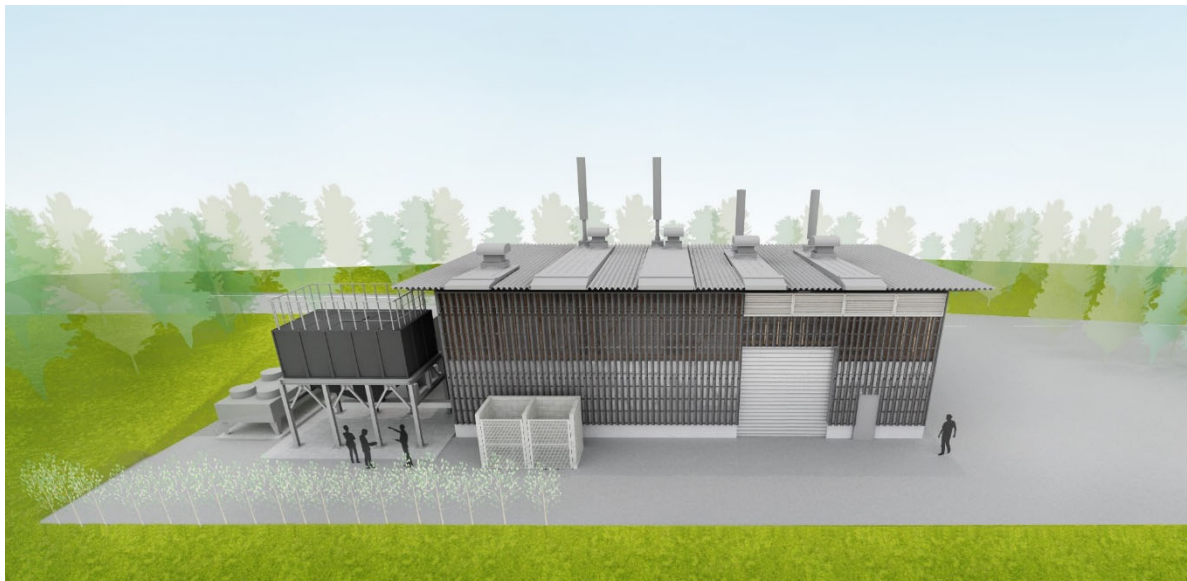
事業概要

名称	内子龍王バイオマス発電所
所在地	愛媛県喜多郡内子町内子 1365 番地
事業者	株式会社内子龍王バイオマスエネルギー (内藤鋼業、サイプレス・スナダヤ、竹中工務店、三洋貿易、大日本コンサルタント)
規模・構造	敷地面積 797 m <sup>2</sup> 、建築面積 181 m <sup>2</sup> 、木造
出力	電気 330kW、熱 500kW
着工予定	準備工事：2022 年 4 月、本体工事：2022 年 5 月
発電開始予定	2022 年 10 月

スキーム図



完成イメージ図



この件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。  
株式会社内子龍王バイオマスエネルギー 電話番号 090-3187-1706